



## 女子高最後の文化祭“むらさき祭” 盛会裏に終演

コロナ禍が明け、二日間にわたり、一般にも一日ほど解放しての近年にない大々的な文化祭となりました。そのため準備も大変で、夏休み前から取り組み、生徒・教員一丸となって当日を迎えました。

オープニングは書道部のパフォーマンスで始まり、各文化部の活動や短期留学、吹奏楽部、ファッションショーと多彩なプログラムに大いに盛り上がっていました。二日目は、各学科が中心になり、各種の販売や催し物を工夫して、参加者のお腹も、気持ちも十分満足させるものとなりました。エンディングは、クラス対抗の大クイズ大会で、女子高ならではの華やぎと圧倒的な盛り上がりを見せました。女子高最後の文化祭は、記憶に残る素晴らしさでした。



## 10月 主な行事

「むらさき祭」という大きな行事が終わり、学校には平常の日常が戻り、授業中心の日々が流れています。10月は、中間考査も予定されており、計画的に継続して学習に取り組むことが重要になります。子どもたちの様子を見守り、機を見計らい、声掛けをお願いします。

日	曜	内 容
1	火	全校朝礼
4	金	中間考査時間割発表
8	火	質問の日
11	金	中間考査①
12	土	第1回保護者対象入試相談会
15	火	中間考査②、人権教育研修会
16	水	中間考査③

日	曜	内 容
17	木	中間考査④
18	金	Reborn 中女「金澤翔子・泰子」講演会
21	月	互見授業月間開始 ～11/22
24	木	看護科戴帽式予行
25	金	看護科戴帽式

## JA 山口農業協同組合講演会



9月13日(金)、株式会社グローバルキャリア代表取締役的場亮氏の講演を聴きました。70分間でしたが、途中で息抜きの活動タイムが2回(あっち向いてほい、あいこハイタッチ)や「ヤッホー」の叫びがあり、テンポよく、エネルギッシュに話を展開され、あつという間でした。「意識の転換。学ぶ意識。姿勢。目的意識を持つ。ポジティブな言葉を使う。結果＝心×技×体で心の数値をあげる。感謝。時間の使い方。」など多くを学びました。

## Reborn 中女「金澤翔子・金澤泰子」講演会

行事予定にありますように、10月18日(金)、158年の女子校としての歴史に幕を下ろし、一部共学化して「山口中村学園高等学校」と名称を変更し生まれ変わり、新たな歴史を創造していくターニングポイントを意識する講演会を実施します。

ご案内のとおり、講師としてはNHK大河ドラマ「平清盛」を揮毫し、世界的な書道家の金澤翔子氏と、書の手ほどきをされた母で書家の泰子氏をお迎えしてお話をして頂きます。お話は、母泰子氏が「子育てや愛の大切さ」等について語られ、翔子氏には揮毫をして頂きます。何の文字を揮毫されるかは、当日にならなければわかりませんが、きっと心を奪われる迫力のパフォーマンスが拝見できるものと期待しています。

## いい本は人生を豊かにしてくれる

立憲民主党の代表が決定し、9人の立候補者による自民党の総裁選が佳境を迎えています。下の本は、銀行ドラマ半沢直樹シリーズの原作者による、政治に関わる物語です。



『民王』 池井戸潤 著 文春文庫

首相とその息子の脳波が入れ替わるという設定に、なんとなく違和感唐突感を抱きましたが、読み進めるうちに政治家や政治がどうあるべきか、考えさせられる展開になり、引き込まれていきます。わかりやすいお話です。与党と野党の政権奪取に絡めて、政治に対する批判、人情、生き方など軽いタッチながら後半に進むにつれて面白さが増していきます。